はちのへ創生総合戦略の概要

資　料　1
令和８年10月１日
R０８総市委０４

- 第２期総合戦略の計画期間が終了
- 国の「地方創生2.0」の起動

これまでの総合戦略の成果と課題を検証するとともに、
国の考え方を踏まえた新たな**総合戦略**が必要…

令和７年３月　はちのへ創生総合戦略を策定
（計画期間：R7(2025)～R11(2029)）



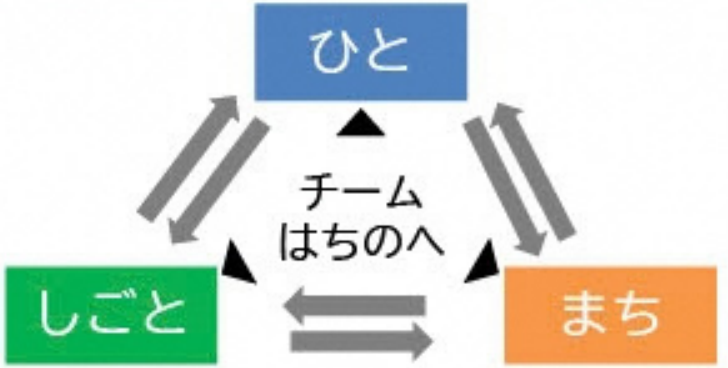
		第２期総合戦略まで	はちのへ創生総合戦略
第２期総合戦略までとの違い	①全体構成	１つの戦略の中に、「総合戦略」と「人口ビジョン」を一体的に登載	「総合戦略」と「人口ビジョン」をそれぞれ独立させる形で更新・策定
	②基本目標	４つの基本目標を設定	３つの基本目標を設定

基本目標

1　八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる

2　八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる

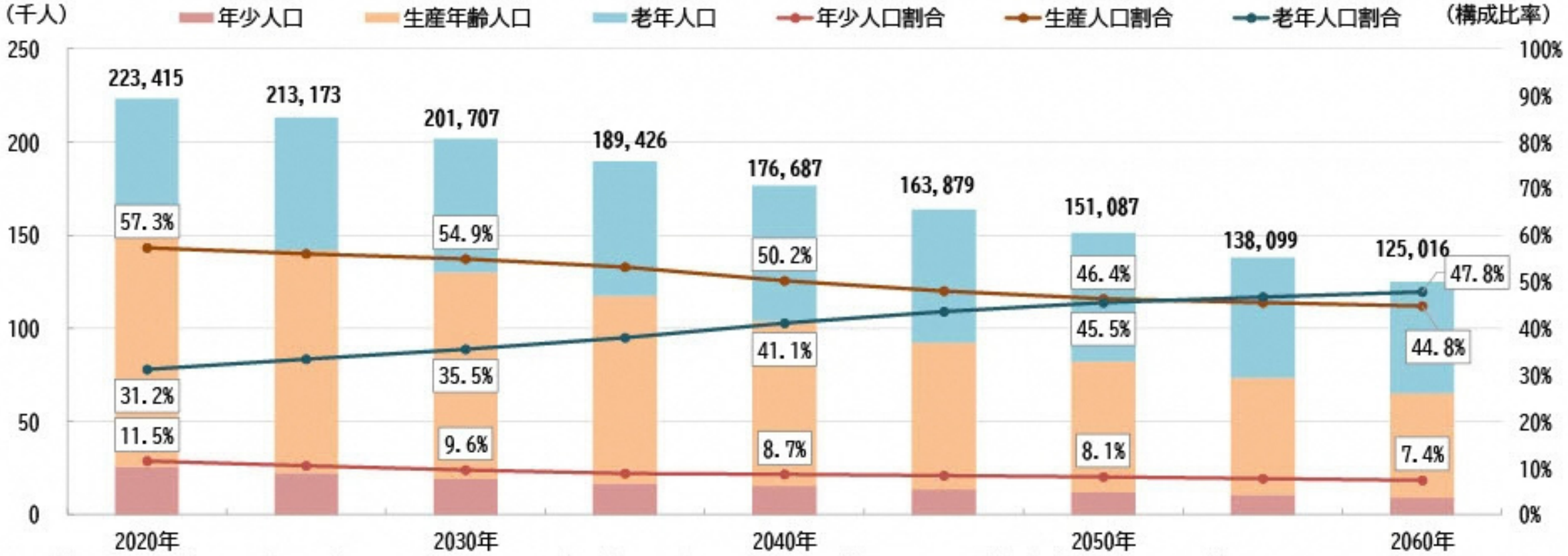
3　八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる



人口の推移

【当市の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所準拠の推計）】

- ✓ 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口（2050年以降は、同研究所の推計方法に準じて国が推計）によれば、現状のまま人口減少が続く場合、当市の人口は2040(R22)年に176,687人、2060(R42)年には125,016人まで減少すると推計されています。
- ✓ 生産年齢人口の構成割合は、2040年に50.2%と総人口の約半分まで下がり、2060年には44.8%まで落ち込む一方で、老年人口の構成割合は47.8%まで増加すると予想されています。また年少人口の構成割合は7.4%まで減少すると推計されています。



資料：総務省「令和２年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」（2050年以降は同研究所の推計方法に準拠し、国が推計）

当市の人口の将来展望

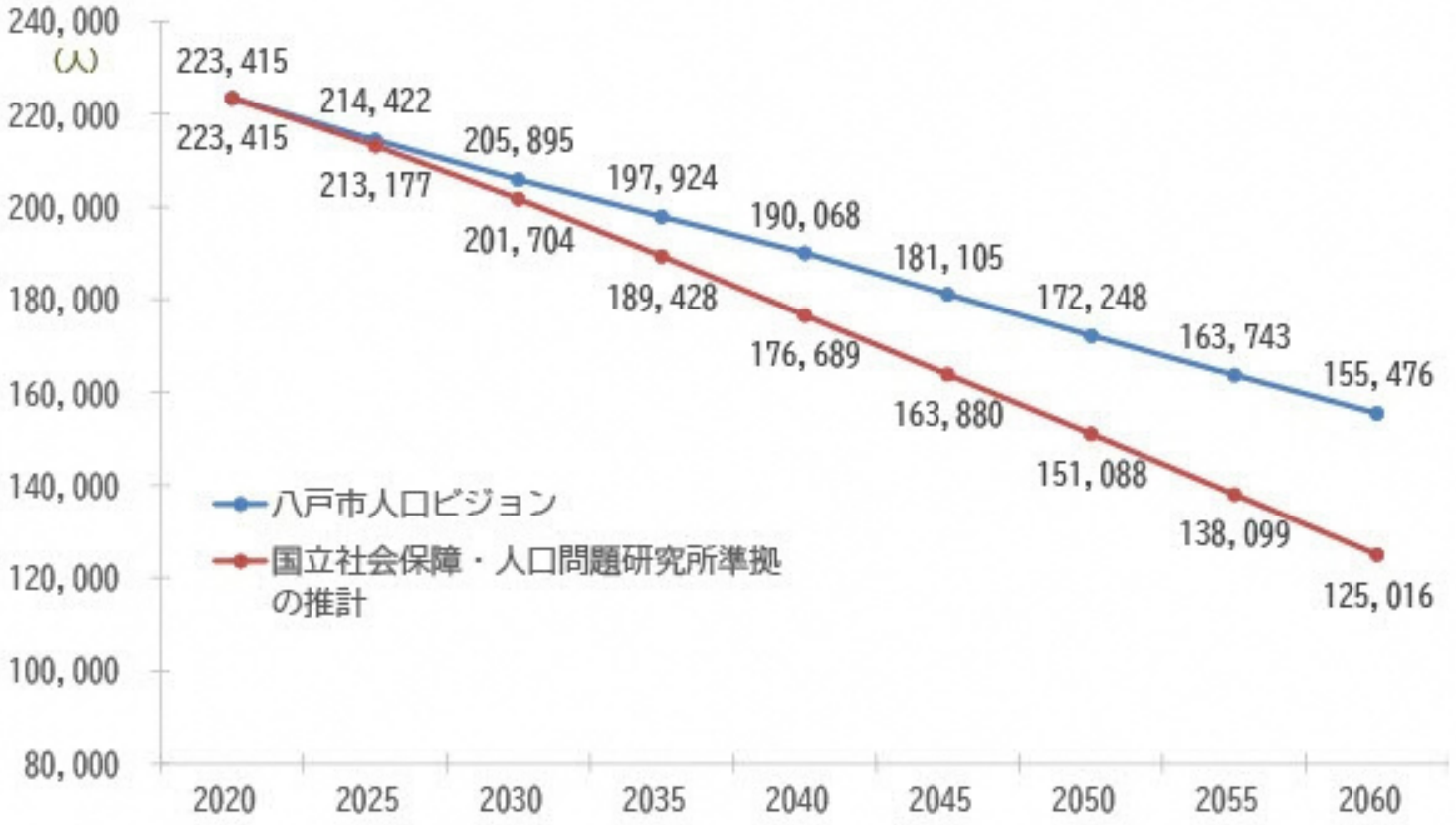
- 国立社会保障・人口問題研究所準拠の将来推計人口によれば、現状のまま人口減少が続く場合、当市の人口は2060年において約12万５千人まで減少すると推計されます。
- これに対し、出生率の向上や平均寿命の延伸、人口流出の歯止めといった仮定が実現する場合、当市の人口は2060年において約15万５千人となると推計されます。

仮定

① **合計特殊出生率**
2030年に1.8、2040年までに2.07まで改善

② **平均寿命**
2040年に全国平均(国の長期ビジョンの想定値：男性83.27歳、女性89.63歳)**並みに。**
※参考：平均寿命（2020年）
【八戸市】男性79.3歳、女性86.4歳
【青森県】男性79.27歳、女性86.33歳

③ **2025年以降に社会減が縮小し始め、2035年に移動均衡に達する状態に。**



資料：国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」（2050年以降は同研究所の推計方法に準拠し、国が推計）

基本目標１　八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる

- ✓ 当市の人口における社会動態は、進学や就職を機に10代後半から20代前半にかけて大幅な転出超過、20代半ばから30代前半にかけてわずかな転入超過の傾向が見られ、全体としては転出超過による人口減少が進んでいる状況です。
- ✓ これらを克服するためには、生まれ育った地元を知る機会の創出や移住・定住に関する取組の強化などを推進し、八戸市を訪れたい・住みたいと思う人を増やしていくとともに、様々なきっかけから八戸市に興味を持ち、継続的につながりを深めることができる仕組みをつくることで、関わる人が訪れたくなるまちを目指していきます。
- ✓ また、次代を拓いていくこどもや若者が心身ともに健やかで心豊かに成長できるよう、地域全体でこどもたちを守り育む体制づくりや学校教育の充実、こどもや若者の主体的活動など、当市の実情に合わせたこども・若者施策を展開します。

数値目標：令和11（2029）年度

- ■ **転出者に対する転入者の割合：現状より上昇（令和５年：0.87）**
- ■ **八戸市に愛着や誇りを感じている人の割合：現状より上昇（令和６年：70.5%）**



主な施策：【施策１】　次代を拓く人を育む

【施策２】　選ばれるまちをつくる

【施策３】　地元とのつながりの維持・拡大

基本目標２　八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる

- ✓ 人口減少が進行するとともに、2025(R７)年には団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり、高齢化がより一層進行していく中にあっても、地域経済の縮小を克服していくため、若者を中心に「八戸で働きたい」と思える魅力的な雇用機会を創出し、多様な担い手確保や高度人材・専門人材の育成を図ります。
- ✓ また、誰もが安心して働くことができる多様な働き方を推進するとともに、産学官等の連携強化を図り、地域産業の裾野拡大と新たなビジネスへの展開やチャレンジ意欲の高い事業者や若者等を支援することで地域内でのイノベーション創出を目指します。
- ✓ 新たな感染症や自然災害の激甚化、国際情勢の急変等、社会情勢の予測が難しい中にあっても、農林畜産業や水産業といった第一次産業や中小企業等を中心とした経済活動の持続可能性を高めるとともに、当市の特色ある地域産業の基盤を強化します。

数値目標：令和11（2029）年度

- ■ **市内高校・大学の就職希望者に占める管内事業所への就職率：**
  高校：46.6%（令和６年：41.6%）
  大学：33.0%（令和６年：28.0%）
- ■ **納税義務者一人当たりの総所得：現状より増加（令和６年：2,601千円）**



主な施策

- **【施策１】　地域の活力を生むしごとの基盤強化**
- **【施策２】　しごとと人をつなげる**
- **【施策３】　しごとの場や機会を創出する**

基本目標３　八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる

- ✓ 結婚・妊娠・出産から子育てにわたって、一体的な支援体制の充実により、誰一人取り残さない、切れ目ない包括的支援に取り組み、安心してこどもを生み育てられる環境づくりを推進します。
- ✓ 性別や年齢、国籍等に関わらず誰もが自分らしく暮らすことができるまちを目指すとともに、市民をはじめ、産学官金労言等のステークホルダーなどと団結して、ワンチームで住みよいまちづくりに取り組みます。
- ✓ 防災・防犯体制や地域の医療体制の強化により住み慣れた地域で安全・安心で健やかに暮らすことができる環境づくりを推進するとともに、公共交通の利便性向上やデジタル技術を活用したまちづくり、ICTやAI等を活用した行政サービスの提供など、誰もが便利で快適な生活環境を地域が一体となって整備します。
- ✓ これらの取組を通して、人口減少下にあってもなお、社会を機能させる適応策を講じながら、誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みます。

数値目標：令和11（2029）年度

- ■ **合計特殊出生率：1.68（令和５年：1.19）**
- ■ **三大生活習慣病の標準化死亡比：**
  - **・悪性新生物　男性・女性ともに100（令和４年：男性113.6　女性109.5）**
  - **・心疾患　男性・女性ともに100（令和４年：男性113.4　女性119.6）**
  - **・脳血管疾患　男性・女性ともに100（令和４年：139.6　女性133.2）**



主な施策：【施策１】　生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり　【施策２】　安心してこどもを産み育てられる環境の整備
【施策３】　快適な生活環境の維持　【施策４】　地域の安心・安全の確立

はちのへ創生総合戦略の施策体系

基本目標	展開する施策
基本目標１ **八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる**	【施策１】次代を拓く人を育む ① 特色ある学校教育の充実 ② こどもの育ちを支える環境の整備 ③ こども・若者の活躍の場の創出
	【施策２】選ばれるまちをつくる ① 移住・定住・UIJターンの促進 ② 若者・女性の地元定着の促進 ③ 地元を知る機会の創出 ④ 文化芸術・スポーツ・観光の振興 ⑤ 高等教育機関の魅力創出
	【施策３】地元とのつながりの維持・拡大 ① 地域の魅力の情報発信の充実 ② 「関係人口」の創出・拡大 ③ 広域連携の推進
基本目標２ **八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる**	【施策１】地域の活力を生むしごとの基盤強化 ① 持続可能な第一次産業の振興 ② 中小企業等の経営強化 ③ 販路の拡大と八戸港の物流機能の強化 ④ 観光産業の高付加価値化
	【施策２】しごとと人をつなげる ① 多様な働き方の実現 ② 人材の確保・育成の促進 ③ 外国人材の活用の促進
	【施策３】しごとの場や機会を創出する ① 企業誘致の促進と雇用の拡大 ② 事業者や若者のチャレンジへの支援

はちのへ創生総合戦略の施策体系

基本目標	展開する施策
基本目標３ **八戸に住み続けたくなる、** **共に生きる「まち」をつくる**	【施策１】生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり ① 協働・共創のまちづくりの推進 ② 高齢者・障がい者等への支援の充実、社会参加の促進 ③ 男女共同参画や多文化共生及び多様な性の在り方を尊重する社会づくり ④ 健康づくりの推進
	【施策２】安心してこどもを産み育てられる環境の整備 ① 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 ② 出会いの場の創出と結婚支援の充実 ③ ワーク・ライフ・バランスの推進
	【施策３】快適な生活環境の維持 ① 市民サービスのデジタル化とデジタル技術を活かしたまちづくりの推進 ② コンパクトなまちづくりの推進 ③ 多様な交通手段による交通ネットワークの維持 ④ 地球環境に優しいまちづくり
	【施策４】地域の安心・安全の確立 ① 質の高い医療環境の整備 ② 安心・安全で持続可能なまちづくり ③ 防災力の強化

はちのへ創生総合戦略の一部改訂について

はちのへ創生総合戦略上の事業の位置づけの見直しにより、本年 6 月に以下の KPI について一部改訂を行いました。

<table>
<tr><th>ページ</th><th>改定前</th><th>改定後</th></tr>
<tr><td>P26</td><td>基本目標２　八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる
施策３　しごとの場や機会を創出する
施策に係る重要業績評価指標（KPI）

<table><tr><th>指標名</th><th>基準値
（策定時）</th><th>目標値
（R11 年度）</th></tr><tr><td>・企業誘致件数</td><td>131 件</td><td>148 件</td></tr><tr><td>・はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業・創業した件数</td><td>213 件(R1～R5 の累計)</td><td>220 件(R7～R11 の累計)</td></tr><tr><td>・課題解決コーディネーター活用件数</td><td>260 件(R1～R5 の累計)</td><td>300 件(R7～R11 の累計)</td></tr><tr><td>・はちのへ若者力形成インターンシップ参加者数（延べ数）</td><td>0 人</td><td>50 人</td></tr></table></td><td>基本目標２　八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる
施策３　しごとの場や機会を創出する
施策に係る重要業績評価指標（KPI）

<table><tr><th>指標名</th><th>基準値
（策定時）</th><th>目標値
（R11 年度）</th></tr><tr><td>・企業誘致件数</td><td>131 件</td><td>148 件</td></tr><tr><td>・はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業・創業した件数</td><td>213 件(R1～R5 の累計)</td><td>220 件(R7～R11 の累計)</td></tr><tr><td>・「はちのへ未来創造塾」における新ビジネスプラン実行件数（累計）</td><td>0 件</td><td>18 件</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">【理由】「課題解決コーディネーター（地域企業課題解決支援事業）」は施策１、「はちのへ若者力形成インターンシップ」は施策２に位置づく事業となっていることから、施策３の KPI から削除し、新たに「「はちのへ未来創造塾」における新ビジネスプラン実行件数」を加える。</td></tr>
<tr><td>P28</td><td>基本目標３　八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる
施策１　生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり
施策に係る重要業績評価指標（KPI）

<table><tr><th>指標名</th><th>基準値
（策定時）</th><th>目標値
（R11 年度）</th></tr><tr><td>・「元気な八戸づくり」市民奨励金を活用した団体のうち３年後に活動がより活発になった団体数（延べ数）</td><td>6 団体</td><td>24 団体</td></tr><tr><td>・シニアボランティア活動実人数</td><td>34 人</td><td>120 人</td></tr><tr><td>・女性チャレンジ講座受講生講座満足度</td><td>93.65%</td><td>現状より上昇</td></tr><tr><td>・特定健診の受診率</td><td>34.0%</td><td>39.0%</td></tr><tr><td>・がん検診精密検査受診率</td><td>胃がん：82.1%、
肺がん：89.7%、
大腸がん：72.2%、
乳がん：96.0%、
子宮頸がん：84.2%</td><td>すべて 100%</td></tr></table></td><td>基本目標３　八戸に住み続けたくなる、共に生きる「まち」をつくる
施策１　生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり
施策に係る重要業績評価指標（KPI）

<table><tr><th>指標名</th><th>基準値
（策定時）</th><th>目標値
（R11 年度）</th></tr><tr><td>・「元気な八戸づくり」市民奨励金を活用した団体のうち３年後に活動がより活発になった団体数（延べ数）</td><td>6 団体</td><td>24 団体</td></tr><tr><td>・「八戸市スマホサポーター制度」による認定スマホサポーター数（累計）</td><td>0 人</td><td>60 人</td></tr><tr><td>・女性チャレンジ講座受講生講座満足度</td><td>93.65%</td><td>現状より上昇</td></tr><tr><td>・特定健診の受診率</td><td>34.0%</td><td>39.0%</td></tr><tr><td>・がん検診精密検査受診率</td><td>胃がん：82.1%、
肺がん：89.7%、
大腸がん：72.2%、
乳がん：96.0%、
子宮頸がん：84.2%</td><td>すべて 100%</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">【理由】「シニアボランティア（シニアはつらつポイント事業）」は昨年度の重点事業審査により総合戦略上位置づかなくなったことから削除し、新たに「「八戸市スマホサポーター制度」による認定スマホサポーター数」を加える。</td></tr>
</table>